

製品名: NUMB ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14977**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	NUMB
別名	NUMB; Protein numb homolog; h-Numb; Protein S171
遺伝子 ID	8650.0
SwissProt ID	P49757
免疫原	ヒト NUMB の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

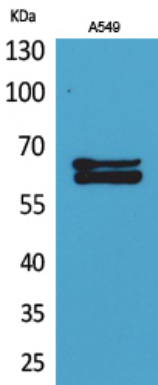
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、発生中の細胞運命決定に関与する。コードされるタンパク質は、MDM2によってプロテアソーム依存的に分解が誘導される膜結合タンパク質であり、EPS15、LNX1、および NOTCH1 と関連することが示されている。

る。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016年2月],機能: 発生中の細胞運命決定の制御に参与する。PTM: アイソフォーム 1 およびアイソフォーム 2 は、LNX によってユビキチン化され、その後プロテアソーム分解される (類似性による)。ユビキチン化; SIAH1 によって媒介され、その後プロテアソーム分解される。配列注意: インترون保持。類似性: 1つのPIDドメインを含む。サブユニット: EPS15、LNX、およびNOTCH1と相互作用する。DUOXA1と相互作用する可能性がある。間期および有糸分裂中に、EPN1 およびTFAP2A も含む複合体でRALBP1と相互作用します。

研究分野

ノッチ;

画像データ



NUMB ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。